

訪問看護ステーションにおける医療 DX の取り組み

当ステーションでは、ICT を活用した医療 DX の推進に取り組んでいます。これにより、業務の効率化を図るとともに、ご利用者様へのより良いサービス提供を実現しています。以下に、当ステーションが取り組んでいる DX 施策についてご紹介します。

1. オンライン請求の導入

厚生労働省の指針に基づき、訪問看護療養費および公費負担医療のオンライン請求を実施しています。これにより、請求業務の効率化を図り、迅速かつ正確な請求処理が可能となっています。

2. オンライン資格確認の導入

マイナンバーカードを活用したオンライン資格確認を導入し、ご利用者様の資格情報をリアルタイムで確認できる体制を整えています。これにより、紙の保険証の確認作業が不要となり、事務手続きの負担が軽減されます。

3. クラウド型電子カルテの導入

クラウド型電子カルテ・請求ソフトを導入し、ご利用者様の情報をデジタル化。これにより、スタッフがスマートフォンやタブレットを使用して訪問先で記録を入力・閲覧することが可能となり、記録のための時間短縮や、職員間での情報共有がスムーズになりました。

4. BCP（事業継続計画）への活用

クラウド上でデータを管理することで、災害時や緊急時にも安全に情報を保管・活用できる体制を構築しています。これにより、訪問看護業務の継続性を確保し、ご利用者様へのケアを途切れさせることなく提供することができます。

5. まとめ

訪問看護ステーションにおける医療 DX の推進は、業務の効率化やご利用者様への質の高いサービス提供に直結します。当ステーションでは、今後も最新の ICT 技術を活用し、より安全で安心な訪問看護を実現してまいります。